愛國婦人

創刊明治卅五年三月廿七日●明治卅五年三月廿七日第三種郵便物認可●毎月二回(五日廿日)發行●電話番町千七百四十五番●同五百廿番●郵送振替貯金口座壹萬六一番

明治四十二年七月廿日發行　July 20th. 1909.

●定價一部金三錢五厘●一年分金八十四錢●半年分金四十三錢●廣告料一行金卒錢●發行所東京麹町區牛ヶ淵公園内愛國婦人會發行所●發行兼印刷人山澤俊夫 [illegible]

主張

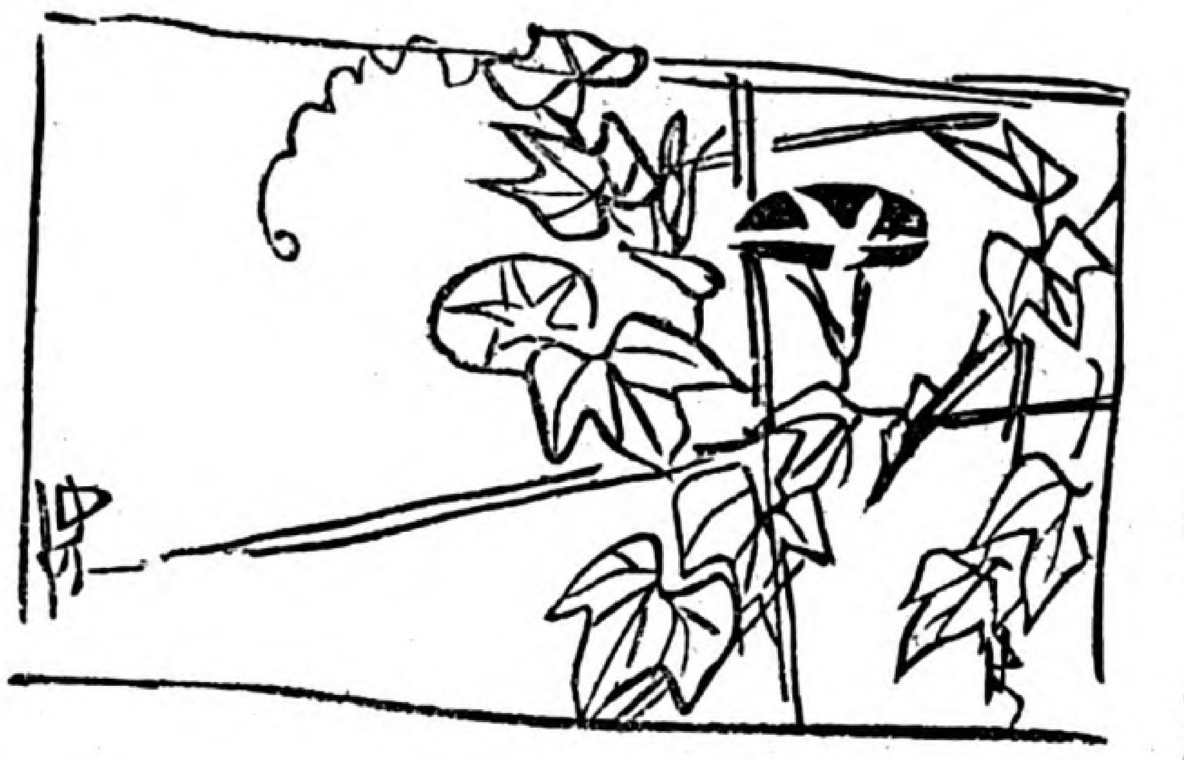
婦人の務(一)

米國前副大統領フェーアバンクス氏の夫人は、先頃神戸女學院に於て、左の如き講演をなせりといふ。

十六年前米國ワシントンに「革命の娘」なる奇名を以て起れる一婦人會あり。そは米國建國の歴史上、二大災厄にして、又二大革命ともいふべき獨立戰爭及び南北戰爭に於ける國歩艱難の當時を、平和時代の今日に在りても、忘れざる爲めの婦人會にして、創立以來この婦人會は、滔々たる現代の奢侈放逸の風潮に反抗して、社會の各方面に高尙着實にして、しかも有力なる活動をなし、社會の濁流に對して峻烈なる覺醒を與へつゝあり。斯る婦人會は獨り米國のみならず、世界いづれの國に於ても、甚だ切要なるものなり。日本の婦人も、主婦の本務たる家政を完全に行ふの餘勇を鼓して、この種の婦人協會を設立し、最も眞面目なる活動をなして、社會の悪風潮を抑滅するの原動力たらんことを切望す。云々。

妻は夫を辱めず。フェ氏にして、斯の夫人あり。夫人の希望は、米國婦人を代表して、日本婦人に註文をなしたるものといふべし。如何にも我國今日の時勢に適切なる註文にして、夫人が米國より齎らせる何よりの土産なり。米國の如きは、大金持にて、有り餘る富の中で、贅澤するは、贅澤にあらず。それでもなほ「革命の娘」の如き會起りて、儉約質素を奬勵し、實行しつゝあるなり。日本は、殘念ながら、米國に比すれば、段違ひの貧乏國にして、土に喰ひついても、働かねばならぬ今日、何を以て奢りめかすの餘裕あらんや。もし我れにして、彼れに勝る所あらんと欲せば、富にては到底駄目なれば、せめては儉約質素といふが如き克己力行の點に於てせざる可らず。それも出來ぬとあれば、最早や取り所なきなり。

我等の眼よりすれば、婦人は實に餘計なものを、身體に附け居るなり。第一、鳥の羽根や、毛物の皮を附け居るのからが、變なものなり。人間は生き物の中にて、最も美しく出來居る者にて、この上何を附けても、美しく仕様のなきものなり、羽根や皮を附けて、禽獸の眞似をして、美しく見せんとは、物數奇にも程のあるものなり。それも寒いから止むを得ず附けるとならば、醜けれども、我慢もさるれ。寒さ凌ぎでも何でもなく、唯皮一枚、羽根一聯を人より餘計に持つて居ることが見せたさに、汗をかきながら、辛棒して附け居るなり。



それだけ辛棒が、儉約質素の方に出來たらば、いか程家の爲め、國の爲めになることかと、思ふことなり。つまり斯る物が持つたが、因果にて、附けねばならぬなり。皮や羽根に囚はれたるなり。それから夏向きには、何に囚はるゝか知らされども、どうか無事に過したきものなり。命時計、金鎖、寶石の指環も皆この流儀にて、我等は少しも感服せず、それでその人の品格が上るとは、少しも思はず、否、却つて時には淺間しく、氣の毒に思ふこともあるなり。中には寶石商の廣告係の如く、指環を左右の手に四つも五つも嵌め居る人あり。さぞや不便なるべく又見て呉れるかとて心配なることならん、金鎖もよし、されど夏向きは、殊に雷鳴の用心肝要なり。なぜ婦人が、上部ばかりの飾に一所懸命にして、心の飾に平氣なるかと、日頃齒痒く、人の事ながら、殘念に思ふの餘り、ついこんな事も言ひたくなるなり。それはまだ汝の悟りやうが足らぬからなり。女は飾るため、めかすため、見せるため、見て貰ふために、世に生れたるもの。そこに氣が附かず。心の修養など、青筋立ゝて、聲を嗄して、叫ぶのが、第一間違なり、方角違ひなり。沙漠に立て、演說するは、愚にあらずんば、狂なり。よせよせ、といふ人あらんなれども、よす譯には行かず我等は婦人をそんな淺はかなる者と見ること能はず。婦人には婦人特有の生存の意義あり。その生活には高尙なる含蓄あり、深みあるものなり。これを悟らずして、たゞ外形を命として、醉生夢死する人間の悲劇豈にこれより大なるものあらんや。

問題が大分やかましくなり、話が思はす横道にそれたり。儉約質素の一事さへ出來ぬものが、心の修養など出來るものにあらず。或る年の愛國婦人會新年祝賀會の時の事と覺ゆ、岩倉會長始め、貴顯婦人の方々が、同じ色同じ模樣の帶をにて出席されたる事あり。新流行賣り出しの帶を、年始に申し合せてして出られたるにやと思ひ、事務員に質したるに、奥村女史が勸めて、作らしめられたるものにて、代價三圓ばかりのものなりとの事に、驚いて、喜んで、御馳走を甘く頂戴したる事ありき。三圓でも、百圓でも同じことなり。謂れを聞けば三圓の方却つてゆかしく、一段人間が上りて見ゆるなり。こゝなり、こゝなり、こゝが大切の所なり。

今や婦人の教育、衛生等に關する會には、堂々たるものありて、相當の成績を擧ぐるに係らず、節約質素を旨として、その勵行を期する婦人會なきは、如何にも物足らぬやう、感ぜらるゝ事なれば、斯る會の一日も早く起らんことを切望し、會が出來るまでは、差向き銘々がこれを實行せんことを願ふものなり。

銀行の業務

▲預金に就いての注意

預金のお話しは此位で切り上げやうと思ひますが、最後に預金の利子のことに就いて御注意して置きたいことが御座いますと、申すのは餘のことでは御座いませぬ。――吾等預金をする人は、漫りに其利子の高いのばかりを目當にして預金してはならぬと云ふことであります。

全體、預金は銀行の側から見れば銀行の借金でありますから、それに對し利子を支拂ふのは當然のことではあるが、預金者の側から見ると、一個人で巨額の金を秘藏するのは心配な譯であるから保管を賴む爲めに銀行に預けるので、此意味から云へば相當の手數料を拂つても實は宜い程で御座います。故に社會に信用のある大銀行ほど預金も多く集り、不確實な小銀行は仲々集まらぬ傾きがあります故に小銀行は預金を集める爲めに利子を引上げるので御座います。

▲銀行の業務と効用

銀行の主要な業務は前號から引續き述べて置きましたる處の預金。それから貸附、手形割引、爲替事業――先づ斯樣なもので御座いますが、次には銀行の効用に就いて述べて置きたいと思ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

女子教育に對する告白

前文部大官　柏田盛文

今日の女子は如何に教育すべきか。女子をして國際場裏の花たらしむべきか、或は亦古人が賢夫人を賞賛せしが如き名花を求むべきか、或は亦前兩者を調和せる才媛を得べきか。これ等は今日の女子教育に對する問題の重要なるものであると思ふ。

予を以て見れば、人をして各好む處に赴かしめて可なるも、今日の時代は、過度に文明の壓迫を免れん爲めに、剛健なる少壯者を得て、危險の虞れある日本を一層健全ならしめなければならぬ。昔時の日本は國際間の親睦に注目せなかつた爲め、女子をして全然かゝることに預らしめなかつたのであるが、今日の日本は世界列强の一であり、國際社交界の重鎭たらしめなければならぬ地位に在る上は歐米女子と同樣な學才を具備せしめなければならぬけれども、これは唯だ上流の一部分若しくは外交官、海軍々人間にのみ行はしむべきことであつて、田舍生活を送る多數の家庭には、保守的婦人の存在を要し、英語を解せざる、茶の湯、活花の心得なくして、男子を扶けて勤儉力行せしむる頑强の婦人を要するのであると思ふ。都會に住む、多少、社交界に出づる家庭には、エスペラントも必要であらうし、英佛語も茶、活花、音樂も有用であらうと思はるゝが、全國多數の上から見れば、今日の日本では、高等女學校を修了せしむることですらも、高尚に過ぎると思はれる。

△地方人の遊學

花の如き多くの少女を、遊學の爲め東京に送ることは宜しくない。地方、地方に高等女學校の設備ある以上は、强て東京まで遊學せしむる必要は無いので、高等女學校以上の學力を要する程、地方の進歩は具備して居らぬのである。

地方の女子は重大なる家庭の責任者たるに甘んずべきものであつて、古來よりの家庭を尚び、淺薄なる學才を衒はずして、能く家庭を調和し、大和民族の美風なる家庭を永遠に維持せなければならぬ家庭の强固なる平和は、國力の要素が强固なるを意味する次第である。風致の惡感染を避けて奢侈を排し、都會の淫風に犯さるゝことなく、一家の向上發展に盡す處のものが多ければ多き程、我が帝國の前途は平和なりと云ふべきである。

△家庭の風儀を改めよ

日糖事件を出さしめた家庭は、明かに其消息を説明して居る。惡人をして社會に游泳せしめた無責任なる家庭は、女子その人の罪預つて力あつたことゝ思ふ。今日の社會は日糖事件の爲めに牢獄に投せられしものを、嚴正に醜穢なりとせないのである。多くの僞善は世に行はれて居る。宜敷醜惡を避け、聖賢の德を以て、家庭の理想となさしめ、寸毫の罪惡をも假借せざる、純粹の道德觀を旺盛ならしめねばならぬ、しかして、武士的、保守的家庭をば永遠に保持せしめなければならぬ。

女子は殊更注意して、かゝる惡風の襲擊をば水泡に期せしめねばならぬ責任がある。輕跳浮薄は、實は恐るべき仇敵と云ふべきものにして、斯かる徒輩は社會に家庭に存在せしめざるやうに努力すべきである。これが、自分の女子教育家に訴ふる告白である。

△理想の家庭▽

愛讀諸姉各位が各自の地方で之れが理想の家庭模範になると認めらるゝ家庭の狀況を簡單に御報知願ひます締切は八月五日用紙は端書

愛國婦人

懸賞

懸賞の新案を募る

燬けるやうな暑さ、休息の時期が參りました。山に海に暑を避けらるゝ方々もありませう。若しくは、室内で靜かに安息を取らるゝ方もありませう。かゝる安息の時期を有益に使はるゝ一法として、次のやうな懸賞案を募ります。その案と申すのは

斬新で有益な懸賞方法

で御座います。何う云ふ方でも容易く懸賞に應ずることが出來るのが第一。それで居て成るべく斬新で、有益なのが第二と云ふ條件で、何のやうな案が此の條件に適ふ新案になるか、それは愛讀諸姉にお考へを願ひ度ひのであります。その御考へをば懸賞で愛讀諸氏から募集致すのであります。

何うして募集に應ずるか

で、此懸賞に應せらるゝには端書に、第一懸賞の題名、第二懸賞の方法を成るべく簡單に記して投書して頂きたいのです。で、締切後第一等に當選した分の新案から順次に採用して、更に其新案に依つて懸賞題を此誌上で募ります。

應募者の御注意

一、用紙　は必ず端書のこと

一、賞品　は一等（一人）『愛國婦人』雜誌半年分購讀券）二等（二人）『愛國婦人』雜誌三ヶ月分講讀券）三等（三人）『愛國婦人』雜誌一ヶ月分購讀券）と致します。

三、締切は　八月の三十日。

懸賞

懸賞の新案を募る

新家庭訓

嫁を迎へる標準

これは最近時米國から歸つた方の、米國で實地に聞いて來られた實話です。同じ米國の裡でも、處に依つて人の氣質が違ふ。その一例を申さうなら、妻を迎へたと云へば、それはお目出たい。何學校の卒業生だとボストン人は第一に聞く。フイラデルフイヤの人だと、系圖に重を置いて、その家柄を聞く。紐育の人ならば、先づ新夫人は幾許の財産を保つて居られるかと聞く。と、鳥渡、こんな鹽梅である。と、その人は譯者に話しました。

▲新時代と舊時代

この話を聞いて、譯者は至極面白いことゝ思つた。

御維新前までの我國は、今の我が同盟國英吉利以上に全然保守的の國であつたが、王政維新、鎖國の禁全く解かるゝと共に、最初は漸次に、後には急激に、世界の種々な潮が流れ込んだ。若い思慮の比較的淺い、吸集力の强い新時代の人と、年老けた、頭腦の比較的に鈍い舊時代の人と、年數の重なるに伴れて、思想の隔りが著るしくなつたのであります。

この思想の懸隔著るしくなつたに伴れて、新時代の血の氣の多く、比較的新らしいもの好きである處の人々と、舊時代の血の氣の少く、比較的、保守的の頭を保つて居る人々との間に於て、在來の習慣や、固有の風習に對する思念が漸次變つて來たのは何人も御承知のことゝ思ひます。

▲持參金が標準

この考へが、唯今では總てのことに伴つて居るやうに思はれます。嫁を迎へるとしても、何うも兎角、種々な標準を心に描かるゝやうである。往時は賤められた持參金の多少を標準として、嫁を迎へらるゝ人が無いとは申されませぬ。が、譯者は甚だ間違つた標準と思ひます。間違つて居るとは思ひますが、世の中に立つて生活することが困難になるに伴れ、金の力が漸次認めらるゝに伴れ、斯う云ふ傾きが漸次甚しくなるのでは無からうかと思はれるに付けても淺間しいことゝ思ひます。

▲出身學校が標準

何學校出身かと云つて、それは標準として嫁を迎へらるゝ方も仲々る。これは至極結構である。また、唯今數多くある女學校の中、出身者が嫁としての成績の宜しいやうに勉められて居る處もあるにや、承知致して居ります。が、併し、果して、如何なることを標準にして女學校の是非を辨別さるゝのであるか。これが多くの方々に於れては判然たる御考が定まつて居られ無いのでは無からうかと思はれる。

▲淸い系圖と血汐

出身の女學校を標準とさるゝことは、女學校の是非を判斷する標準さへ宜ければ至極結構なことゝ思ひますがそれにもまして、我國として最も相應しいのは、系圖を標準にすることゝ思ひます。系圖の汚はしい、淸くないのは、あまり結構なことでは無い。が、系圖と共に、淸い血汐と云ふものをば是非、嫁を迎へる標準のうちに、重きを置くものにして戴きたいものと思ふ。その血汐が子孫の血汐を汚すやうなことをすれば、その子孫に如何なる結果が及ぶか。それを考へると實に恐しいことである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

音樂趣味

ソルフワ階名の情趣

英米で使はるゝソルフワ階名は、果して何のやうな音色を現はして居るのでしやうか。それを順々に書き列ねて見やうと思ひます。

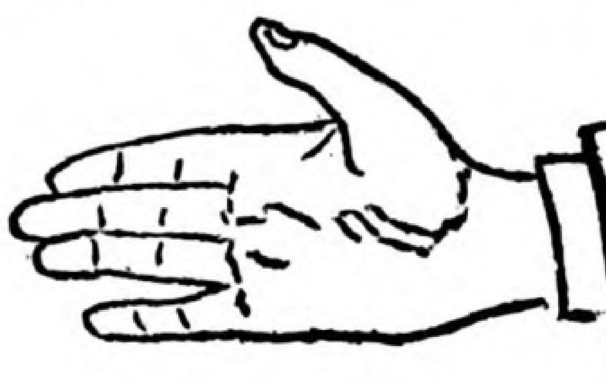
d 此音は固い確乎した頼もしい音です譬へて申さば、一家の主人のやうな者で、家內一同が頼りすがる、强い、勢力ある音です。之を色に例へて見たら、丁度深紅の强烈な而て熱情の籠つた所でせうか。唱歌の稽古に、よく手眞似を遣ひますが、其時には下圖のやうな、堅固な握り拳で、それを表はすのです。

r 此は將に興起せむとする希望の聲であります。舌端を捲き縮めて、强くレーと發音する時は、如何にも强く續き來る力が有つて、前途の喜に滿々たりといふ樣な愉快が感ぜられるではありませんか。一家に譬へたら、野心勃々たる長男でありませう。手號では上起せむとする手首で、これを表はします。色ならば淡紅色、やがて櫻花の色を思ひ出して、鬱勃たる大和魂に因緣無いでもありません。

m 落着いた靜かな唇音です。決して揺れたりする音ではありません、平和安心の聲です。一家ならば、優しくて而も侵す事の出來ない阿母さんでせう。其最も靜かな、落着のある所に特色があります。色にしたら純黄でありませうか。

弱いやうですけれども、非常に温みがあつて、奪ふことの出來ぬ落着きがあるのです。これを手號で申せば前のと同樣下圖に示してある通り、平かに靜かに、掌を下に水平に置きます。

f 脣を衝いて、爆音的にフワーと發する所は、どうしても穩かな音ではありません畏懼の聲です。心憶して暢びないのです。一家の內なら、次男か三男の位置で、俗に所謂冷飯喰なるものでせう。內に憚る所あり外に惑多しといふ境界です。色にしたら橙黄色でもありませうか。弱い黄があるので紅も甚だ冴えないのです。手號では、上圖に示す通り、三指萎かんで伸ひずに拇指食指の僅かに開いた形を以て表はします。一體此階音は、mの半音の次に來るので、際立つた音色がありますから、此樣な迂遠な說明を待たないでも、直に一種の情趣が感ぜられるのです。



s 冴え渡つて心ゆくばかりの上顎氣音です。快活明徹の聲で、誠に立派な感じがします。一家では阿母さんのお手傳に成つて、よく切廻すお姉樣の格でせう。きび〱した幅利といふ所です。色ならば藍色。空の高遠、海の深淵など壯んな聯想が澤山出て來ます。手號では前圖のやうに、掌を横に起し、全面も擴げて高上の形を表はします。次にはラーの階音です。

l 餘り柔かな流音で、力がありません悲みの聲、泣涕の音でせう。短音階の歌が多く悲哀に成り易いのも、此音を澤山使ふためでせう。色にしたら薄紫の力無い鬱陶しい所でせうか何うも冴えない色調を生じます。一家の內では、最も勢力の無い季娘で、いつもいぢめられ通しで、物を悲觀して居る境界です。手首の萎えて垂れた、力の無い手號を用ゐます。前圖を御參考下さい。

t 鋭感なキイキイした所、寧ろ痼走つた子供を思はせます。由來是は力量の要るに拘らず、誠に重みの無い舌音です。中々の元氣ですが、小さく、定り無く、跳ね廻りたい所は、一家の內の頑是ない末子でせう。手號では、前記の如く、其尖鋭を表はすために、食指を上に向けて、指さす形を用ゐます。色にしたら、若い綠の鮮やかな所でせう。若い騷々しい事を青いと申すのもよく適つて居ます。

このお話の第一は三月廿日發行の本誌に出て居ります。

大島流人

お伽噺とお伽會の旺盛

巖谷小波

今やお伽噺が非常の旺盛を極め、小學校の敎科書中にも編入せらるゝことゝなつたのは、寔に喜ふべき趨勢と信じて居ります。

△お伽噺とお伽會

元來お伽噺は、興味ある他愛も無い、小兒らしい點が特長であつて、此點に就て充分注意をしないと、屢々失敗を來すのであります。

お伽噺會の如きも、社會の必要に迫られて居るらしいのであつて、私のやうなものでも寸暇なき程處々のお伽會から出席を强られて居りますが、子供にまでも趣味を與へんとするやうに世の中の進歩したと云ふのは、これ全く時代の賜であると感謝せねばなりません。

△將來のお伽噺

將來、世界に於けるお伽噺の發展は歐米に無論先んぜらるゝのは致方なけれども、我が日本も之と駢進しつゝある傾向を有して居ります。新機軸を出す樣なことは困難でありませうが、お伽噺は時代の副產物と云ふよりも、寧ろ時代と意氣相合すると云ふ愛翫者であります。かく時代と同化する力を保つて居る故に、歷史的に長き勢力を有するのであらふと思ひます。

△今日のお伽噺

今日お伽噺の殘骸を維持して居る昔からの傳說は、吾が日本のみで收拾するにも容易ならぬ事業でありますが、その話題の透逸なるもの五六千は慥かに滅亡せずに存在して居ります。その滅亡せしものを加へますれば、數萬の上に達することであらうと思ひます。

それから宗敎上に起因した話題を入れますと、その三倍もあることでしやう。兎にも角にも、滅失せずに居るものは是非起錄に止めて置きたいものであります。

△將來の危憂

今日、お伽噺は小兒界の一大勢力となつて來て居りますから、將來は、たわいもない話の中に敎育となるものを一層多く含有せしめて、新興味を付與するに到ることでしようが、保守頑固の一派から甚だしい反抗が來て、お伽噺は無用の長物だなどと云ふ日が莫きにあらずと、唯今から危憂して居ります。

家事問答

皆さんから御質問を歡迎致します

問 私は汗かきで困りますが、何か汗止めの好い藥はないでせうか（熊本　てふ子）

答 汗の出るのを防ぐばかりで無く、化粧用として皮膚を傷めずに能く利く藥は

ザリチール酸　三、〇　澱粉　一〇、〇
滑石末　八七、〇

の三種を好く混ぜ所謂打粉として用ゐるのです。これは汗止の他に種々の皮膚病、擦傷、腋臭等にも効能があります

問 蚊帳は何う保存したら宜しいでせうか、保存上の注意も伺ひたう御座います（福島　佐藤）

答 蚊帳の保存上一番恐るべきは濕氣でありますそれから蟲喰。次に手垢やなぞの爲めに黴菌の生ずることもありがちですから、時に日光に當て、入梅の頃にはたび〱風にあてることが肝要と思ひます。殊に蚊帳の洗濯は保存上にも衞生上にも必要ですから、必ず毎年とか隔年に行ひ、仕舞ふ時には折目を正して疊み、澁紙等で包んで箱の中に保存することが肝要です

味噌の黴に就て　岩手の渡邊さんの御質問に對し諸姉からの御答へを需めました處、北海道札幌の野間登代子さんから次の樣なお答へが御座いました。

一、味噌の黴を防ぐには味噌を桶へ平らに押付け其上へ鹽と砂糖を澤山に振掛け中蓋をして上蓋によく目張りして置けば何時までも黴る事なし但し中蓋桶共に松材にて製すれば猶よし。一、味噌の腐りかゝりし時は砂糖と鹽とをよく混ぜて掻廻し松の木のしんをきれいに棒にけづり數本も桶に差込み置けば味なほる物なり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

話の種

盗賊除の豪農

ひつじ

汽車あり、汽船あり、電話、電信といふ便利なものがある今日から見れば、隨分間が拔けた話ではあるが、交通なく、駐在所なき御維新以前には、事實と信じられないやうな警察事故が多かつた。

今なればどんな山間の辟村でも、強盗や殺人のあつた場合には、直ぐ所轄警察から所在の分支署に打電して、一方犯人の逃走を防ぐと同時に、一方では極力是れが取調に着手するといふ有樣であるから、大抵の犯人は先づのがれつこのないものと見て宜しい。所が昔はさうでない。成程昔も警察官がないではない。所在にお代官といふものがあつて、人民保護の任に當つて居たのであるが、何しろ交通不便の當時であるから、ソレッといつて直ぐに犯人を捕縛するわけにはゆかぬ。飛脚の、手續きの、といつて騒いでる間に犯人はもう隣藩に逃込んで了ふ。それつきり泣寢入りになるといふ有樣であるから、隨分奇談珍談も多かつた。

是れもその當時の話であるが、記者の郷里から三里許りはなれた押切といふ所に三郎右衛門といふ豪農があつた。帶刀御免の家柄で、代々大庄屋を勤めて居たので村人の間には盛んに威勢をふるつたものだが、性來は非常な憶病者であつた。

或年の秋、といつてももう冬近い或夜の事、夜警の番人が、一杯機嫌の千鳥足で、例の拍子木をカチ〳〵やりながら、裏庭から雜穀倉の脇を拔けて、母屋の角をまがらうとする拍子に、ふと第一の米倉の二階の窓から、幽かな火の光が漏れて居るのを見た。

醉つて居ても遉がは本職、番人はいきなり提灯を吹き消して、土藏の破目にぴつたりと身を寄せ、暫らく樣子を窺つて居ると、それとは知らぬ土藏のうちでは、頻りに四方を見まわして居るらしく、火の光はその度毎に上へ下へと動搖する。最早疑ふ餘地もなしと見たから番人は、直ぐさま提灯を樹の枝に吊るすが早いか、門前の半鐘に驅け上つて、あらん限りの力を出して、ヂャン〳〵やつたからたまらない。寢入りばなを起された百姓共は、ソラッといつて屋外に飛出したが何方を向いても火の手が見えぬ。兎に角庄屋樣まで驅け付けろと、韋駄天走りにやつて來ると、思ひがけない此始末だ。サア百姓共が承知しない。面白い、やつつけろと口々にわめきたてながら、手々に得物を提げて、四重五重に土藏のまはりを取圍んだのである。

驚いたのは土藏の中の盗賊だ。俄かの半鐘に何事かと、恐る〳〵土藏の窓から首を出して見ると、思ひがけない此の包圍だから、遉が不敵の曲者もギックリとした。それも暗夜ならまだしもの事、折りも折りなり、二十日の月が、丁度山の端を出た所で、頑丈づくりの面構へが朧氣ながら認められる。しまつたと思つたがもう遲い。

下では評議の最中だ。かうして皆で取圍んだ處で、幸ひ盗賊が下りて來ればよし、さもなければ何時まで經つても待ち呆けだ。此の際誰れか一人土藏の中に飛込んで、盗賊を追出す外はないといふ事になつたが、さて人選の段取になると、誰れ一人われから進んで其の任に當らうといふものはない。貴樣が行け、手前が先にと、互に讓り合つて果てしがない。中には俄かに腹痛を訴へる臆病者もある。

土藏の窓から此の有樣を見下して居た盗賊は、こいつ與し易いと見て取つた。よろしい一つ威嚇してやれと、用意の一刀ギラリと拔くが早いか、二階の格子戸を開け放して、土藏の屋根へと驅けのぼつた。見ると西向の屋根とすれ〳〵に、長い〳〵一條の階子がかけてある。その眞下で何百人の百姓共が、口々に何事か言罵りながら、頻りに小田原評議を繰返して居るらしい。

盗賊は冷やかに一笑した。そして片足を階子の第一階にかけた。と見る間に拔身の白刄を眞甲に被つて、破鐘のやうな大音聲に、

危ない〳〵！

と叫びながら、何十段の階段を飛ぶが如くに群集の頭上を目がけて一直線に驅け下りたから驚いた。今迄蜂の子のやうに騒いで居た群集は、てつきり天狗の天降りとでも思つたのであらう。かう成つては見得も外聞もあつたものに非ず。ワーッといつて吾れ先にと、右往左往に逃げまどひ、期せずして一條の通路を開いたその眞中を盗賊は、側目もふらず悠々と、大手をふつて門外へノッソ〳〵と立去つたのである。

素より烏合の百姓勢、蛇に睨まれた蛙も同然、誰れ一人手を出すものもない。やう〳〵もの丶十町も行過ぎた頃、はじめて氣がついたやうに、さては盗賊取り逃がしたか！　と無念の思惑よろしくあつて、何より早く門を締めろ！　よろしい引受けたでガラ〳〵ピシャンは、此處大向大受けの喜劇であつた。

是れでやう〳〵一安神と、いづれも自分一人の功名のやうに、振舞酒を煽つて大氣焔の最中、トン〳〵〳〵と門を叩くものがある。一同思はず顏を見合せて返事もせずに默つて居ると、外ではもどかしく思つたものか、一層はげしく叩くので、中の一人がたまり兼ね、誰れだッと一聲怒鳴りつけると、誰れでもない、先刻の盗賊樣だと來たから驚いた。而かも一人ではないらしい、一同の顏は蒼白になつた。中には齒の根も合はず片隅に、小さくなつて打慄へて居る者も少ない。

開けろ！　門を開けろ!!　と外では頻りに怒鳴りたてる。一體何用だ？　と尋ねた主人の聲も慄へて居た。外では何事か頻りに相談して居る樣子であつたが、やがて一人が進み出で、開けなければ開けぬでよろしい、實は先刻土藏を出る時に、少々急いたもので大切の商賣道具を忘れて來た、それを返して貰ひたい。それさへ素直に返して呉れりや、俺から仲間の者に沙汰をして、向後一切此家に仇をしない積りだ。――用事はそれつきり、サア確とした返事を聞かう、といふ申條だ。いやとはいふなら直ぐにも門内に闖入しさうな權幕だから、主人をはじめ慄へものだ。兎に角土藏の中を見て來いといふので、中で氣の利いた四五人が土藏の二階に上つて見ると、果して鋸やら錐やら種々な大工道具が、手頃の箱に一杯詰めてあつたので、それを細引でしつかりと結へ、潜り戸の上から塀の外に突出してやると、確に受取つた。數も間違ない、俺の眼玉の黑いうちは、枕を高くして寢るがいゝ。御苦勞だつたと言ひ棄てて、鼻唄がけで立去つた。

＊　＊　＊　＊

盗賊に義理固いも可笑しいけれども、一旦の約束を破るのも、遉がに心苦しく思つたものか、爾來何十年といふものは、その家に限つて盗難に罹つた事がない。押切の盗賊除といへば、近村で誰知らぬものなき程で、子孫末だに繁昌して居るといふ事である。

古今譚婦名

染分衣

露所

昔男ありけり。そのこ二人もちけるが。兄はさきの妻の腹。また弟は現在の妻が產みたるなり。此兄のそのこ繼母に事へて。いと孝行しければ。母もまた無く思ひて。實の子につゆ劣らず。愛でたりしが。其父病あつしくなりける時。母に言ひける樣。おん身年頃兄のそのこを愛憐みはぐゝめる事は。折にふれて能く思ひ知りつ。然ればうしろめたかる可きならねど。我なき後の事を想ふに。猶も彼がいとをしく覺ゆるなり。余を深く思はゞ。其を形身ぞと思ひて。いよゝ憐むべしとて。終にはかなく成りにけり。夫れよりは此兄をば弟にも優りて。愛育みけるが。年頃にもなりければ。軈て妻を迎へしに。此妻容儀いと美しかりしを。其頃時めきて公に仕へしをのこ。此妻を戀慕し。夜な〳〵通ひけるを。弟心付きて安からず思ひ。窃かに狙ひて。遂に討ちはたしけるに。其事たちまち露見れて。捕縛はれ命をば絕たるべかりしに。兄のをのこ進みいで丶。彼は己が身の爲めに犯せし罪ならず。事の起りは某にあれば。早く此身を罰せらるべしと言ふ。弟の言ひけるは。兄は何事も知らず。我こそ罪ふかけれ速かに首を馘られよとて。互に競ひければ。廳人も計ひわづらひて。母をば召出し。其が申さん樣に據るべしと。定められて。母に問はれければ。母もとばかり思ひなやみて。淚を流しつゝ。弟をば罰せられよと申す。廳人いと心得ずして。其ゆへを尋ぬるに。母の言ふやう。兄はまゝ子ながらも。幼少より互に實の母子と思ひて。愛憐みけるに。父が身まかりし時。念ころに申し置き侍りし事も。心の底にとゞまりて。昔を思ひ出づる度度。今聽く樣に侍り。然れば父が歿せし後は。二子をばいとゞも恃みに思ひて。歎さを慰め。月日を送りけるに。斯く罪に逢ひつるこそ。宿世つたなく侍れ。と泣く〳〵言ひければ。聽く人々も淚を落し。悲しまざるは無かりけり。斯くて此事上聞に達し。三人の者ども皆々殊勝の心掛けなりとて。其罪を免るされしとなん傳へけり。

小川產科婦人科醫院
●不姙症●流產豫防●入院隨時產室設備
四谷區荒木町四番地（電話番町八六三番）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

皇孫御避暑

迪宮、淳宮、光宮三皇孫殿下には豫て仰せ出されし如く葉山御用邸に御避暑の爲め七日午前八時五十分青山御所御出門同九時二十五分新橋御發車あらせられたり右に付き新橋驛には富美宮、泰宮御使桂御養育掛長、乃木學習院長、香川大夫、渡邊次官、村木大夫、九條公、中山侯、木戸侯、岡侍醫、錦小路主事、小笠原海軍大佐其他各宮御使學習院生徒十餘名御見送り申上げたるが三殿下にはカーキー色詰襟洋服を召され而して迪宮、淳宮、兩殿下には菊花御紋章附の學習院帽を戴かせられ各殿下とも御氣色麗はしく御動作も最も御快活に車窓に凭らせられたるまゝ見送りの前記諸氏へ親しく擧手の御答禮を賜はりつゝ御機嫌よく御出發あらせられたり斯くて午前十一時五分御無事逗子停車場に御着あり是より先き橋本神奈川縣警務長、堀事務官、横須賀警察署長、若林三浦郡長等プラットフォームに御出迎へ申上げ逗子開成中學校及び當市小學校職員生徒は何れも停車場前に整列奉迎したるが宮内省より差廻しの人力車にて土屋御養育主任、丸尾御養育掛、渥美女官等御陪乘申上げ御機嫌麗はしく葉山御用邸に入らせられたり

女王御命名式

去月三十日御誕生あらせられたる閑院宮載仁親王殿下第五女王御命名式は六日午前九時永田町の御本邸に於て行はせられ御父宮殿下より左の如く御命名あらせられたり

一御名　華子女王

別當木戸侯爵は右の趣を岩倉宮相を經て直ちに畏き邊りに奏上せられ同宮相は同時に山口圖書頭に移牒して御名を皇統譜に登錄せしめられたり。

兩陛下御祝品

六日午前九時閑院宮王女子御命名式を行はせられたるに付天皇皇后兩陛下より左の御祝品を賜らせられたり。

一、産衣地羽二重　一疋
一、鮮鯛　一臺
一、清酒　一荷

東宮同妃兩殿下幷に各皇族殿下よりも夫々御祝品を贈らせられたり。

▲愛讀諸姉へお願ひ

一、前金切の方は何卒この際至急雜誌代御入金を願ひます
二、雜誌代御拂ひ込みの節、振替ならば登記料金二錢をお添へ下さいませ。

▲短篇小說を募る

本誌に愛讀諸姉の作られた短篇小說を載せ、一層の光彩を本誌に添へることに致し既に當號に揭げました。諸姉萬望御投稿を願ひます但し一行十八字詰にお認めの上八十行以内に纏めて戴きたいのです但し限期は定めませぬ。

日誌　活きた社會、活きた世界

忙がしい社會、いろ〳〵と變つた出來ごとが、日々のやうにあります。一日の勞苦は一日にして足れりと云ひますが、此忙しい世の中の一日々々の出來ごとを深く皆さんの記憶に止めて置くのが必要であらうと思ひまして、今後新たに此一欄を設けることに致しました

七月一日　横濱開港五十年祭を横濱にて擧行盛況を極む

去月より在京せる露國學生團所々を觀光に忙し清國答禮大使載振貝子殿下入京、久邇宮井同妃殿下倫敦御着

五十年前の横濱（鈴木まつ子寄贈）

英皇帝御名代加藤大使夫妻の歡迎を受けさせ給ふ。

二日　伏見若宮妃經子殿下御渡歐勅許せらる、吳鎭守府旗下艦砲戰闘射擊廣島灣にて擧行。

三日　日糖事件の瀆職代議士判決され一名無罪他は皆有罪と決す、午前五時五十四分東京、甲府、横濱、横須賀、宇都宮、沼津、水戸、秋田、長野地方に強震あり長野縣下篠の井線に山崩れあり。

四日　米國獨立祭擧行。

五日　韓皇帝麥田親刈式を行はせる、マニラ人の日本觀光團上海を經て香港より入港せるコレア號にて長崎へ着、信濃川分水起工式擧行平田内相參會。

六日　北海道新夕張炭坑にて瓦斯爆發千五百尺の坑道を塞ぎ即死五名を出す、栃木縣足利地方多量の灰を降す淺間山若くは白根山附近火山の噴火せる爲ならんと云ふ。

七日　北海道幾春別炭山坑夫長屋より出火四十戸燒失燒死一名あり、千嶋得撫嶋附近にて風波の爲坐礁せる榮紫丸は本日軍艦武藏に救護せらる、淺草の孝婦山口多美東京府知事より表彰せらる。

八日　午前六時五分上野發新潟行急行列車埼玉縣鴻の巢に達せる頃激烈なる車輛の摩擦によりて火を發す。

九日　大阪商船會社新造タコマ丸米國へ初航海す四名の西班牙勞働者モロッコ國リフ地方にてモロッコ人に殺害され西班牙懲罰隊は之と激戰敵の要塞を占領す、佛國シェルアールの砲熕火雷廠出火損害數百萬法。

十日　宮中南溜間に於て板垣、乃木兩伯、西子、德川侯等に位階陞叙の御沙汰あり、大阪、廣島、熊本、名古屋等各地方幼年學校卒業式擧行。

十一日　相馬の野馬追本日より三日間福島縣相馬郡原町雲雀ヶ原にて擧行、日糖重役豫審にて有罪と決定さる、前社長酒匂農學博士自殺す。

十二日　横須賀鎭守府所屬驅逐艦隊本日より羽田沖にて射擊演習擧行、波斯勤王黨軍と國民黨軍とはテヘラン附近にて戰を交ふ、清國答禮大使歸國さる。

十三日　獨逸宰相ビューロー公辭職す、伊豫三津ケ濱築港起工式盛大に擧行さる、福岡縣下出水。

十四日　天皇陛下學習院に行幸、英國倫敦市長は久邇宮並に同妃殿下の爲め官舍にて饗宴を開く、梨本宮並に同妃殿下旅順へ着遊ばさる、波斯國民黨はテヘランに進入激戰を交へつゝあり露國より援兵來る。

喜ぶべき出版界の趨勢

書籍の賣行き近來大に趣きを異にし、一時流行であつた自然主義の小說類、近頃とんと賣れず眞面目なる實用的の書物が歡迎さるるに至れりとは、喜ぶべき現象である。此程發行せる渡邊辰五郎先生の遺稿なる「高等裁縫講義」の如き、家庭實用の書として殊に評判高く、編輯所なる青山原宿の大日本女學會は更に上製並製の二種に製本し、上製一圓、並製九十錢にて注文に應ずる由、かゝる有益なる書物の各家庭に普及せんことを望む。

樂媛會の演奏

去る十七日午後一時半より女子音樂學校に於て樂媛會の演奏會開かれピアノ、オルガン、ヴァイオリン等の演奏ありしと。

愛讀諸姉への御用たし

愛讀諸姉永年の御愛顧に酬ゆるため美顏タオル、ふけしらず、剃刀不要の三種に限り非常特別の廉價で當發行所仲介者となり諸姉からの御用に應じます。右三種の廣告は廣告欄に出て居りますから御一讀下されたく美顏タオルは特製金一圓、甲種六十五錢、乙種五十錢、送料市内四錢、地方は八錢（三個まで）、ふけしらずは七十五グラム入（二ケ月間用三十五錢）二百廿グラム入（七十錢）送料内國金八錢、臺灣清韓各三十錢、剃刀不要は大瓶一圓、小瓶五十錢送料は前記同樣で扱ひますから、續々當發行所へ御申込みを願ひます。

新刊案内

△**花の趣味**（三宅花圃女史著）三宅文學博士夫人が其得意の筆にてものされし花ものがたりなり。愚者の名負へるセラニアム、貴紫のクローカス、操嚴れる梅、香麗はしきヒヤシンス、溫順の名に負へるパイチレット、敷島の日本櫻、虞美人草、長命のデイジーシネラリヤなぞいろ〳〵優き名の花いつきて、くさぐさの物語を傳ふる此もの、本は文、歌のたしなみある人は勿論、家庭に愛讀さるゝもの、第一なるべし。數多き優美の色刷畫、やさしき本文と相待ち錦上更に花を添ゆる趣あり（定價九十錢、日本橋欄正町一服部書店）

△**通俗佛典物語**（大屋德城編著）歐米に流行せる聖書物語、子供の聖書なぞにならひ釋迦の殘せし聖訓を面白く通俗に書綴れるものなり、その一般を示せば牛錢と云へる件に「昔一人の商人がありましたが、他人に五厘の金を貸して置きました。處が其人が久く返しませんので、商人は催促に出かけました。扨借人の家に行くには大な河を越さればなりませぬ。そこで二錢の賃金を拂て河を越えましたが借人が不在で會へませんでしたから又二錢を拂つて越て歸りました。此人は僅五厘の爲に四錢を費し、加之人に笑れました云々」（定價卅錢、巢鴨上駒込内外出版協會）

△**謠曲お伽噺**（南蘋著）謠曲中出色のものを極めて通俗に談話體にものせるものにて、此篇には羽衣、橋辨慶、鳥羽、夜討曾我、一角仙人、土蜘蛛の數篇及び新作狂言の數を收む卷中處々に趣味深き畫を挿みたるはうれし（定價二十五錢、同上發行）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

俳句

夏すがた

天　紀伊　土井ちつ子

月涼し松に添ふても離れても

評、思ひ出多き故郷の空

地　岩代　松山孝子

對陣の天幕を漏るゝ蚊遣かな

評、書にせまほしき滿洲の山

人　石川　篤子

挨拶の後先につく暑さかな

評、香水薫るハンケチの裡

佳作

蚊遣鉢主三代の煤け振り　岩代　須田尾上
紅牡丹小督經讀む院の庭　東京　西村鶴子
短夜を奈良の旅籠に泊りけり　京都　佐々木千鶴子
亡國の五十四年や雲の峯　東京　保坂義子
温泉の町を京女歩くや夏の月　横濱　上杉らく子
水着ながら少女眠るや松の蔭　臺灣　香取敏子
夕顔や哀別離苦の田園道　東京　山本ふみ
明け際の風心地よし蓮の花　横濱　板倉かすえ
釣流す蚊屋に目のさす山家哉　三重　莊司種子
梅雨はれて柳美し夏の月　大阪　山下彌生子
眞暗な池横切りて飛ぶ螢　福島　笹田柳子
清水掬みて仰ぐ岩根や百合花　下野　瀧澤秀子
垣杭に眼立つ一本の新樹哉　備後　世羅龜子
産神の森の木蔭や岩清水　岡山　西村長子
日盛の墨土匂ふや五條坂　京都　露緒子
一村に際立つ楠の新樹かな　三河　山内經子
雨そぼろ水鷄啼く夜の明け易き　福島　高山美枝子
川端を埃に暑き蟲上かな　京都　加藤くれなゐ

短歌

―(應募注意)―

△應募者は一人にて二首を限り住所氏名を明記されたし。
△毎月五日號は大口鯛二氏選評。
△同廿日號は編輯局同人選評。

一等　京都　露緒子

燒石の黄なる青なる磊々とならぶ岨路の盛りのあざみ

評、炎帝の息吹き激しき禿山の岩影なるべし。

二等　遠江　馬淵かをる

白衣着て君の柩に人あまた續きぬ森に啼くほとゝぎす

評、原作擬きし森に時鳥なくとあり、句調弱きは口惜し。

三等　信濃　高橋清子

溪かはのみかさまさりていはかけのさゆりあやふきさみだれのころ

評、新しき詠み口にはあらねど、なほすてがたき趣きあり。

佳作

わが袖もかわかぬものをふるあめに聲もわひしくなくほとゝぎす　横濱　鈴木まつ子
つゆあかりなほたえがたきあつき日を重荷おひ行く人もありけり　三河　蟹江と代子
うち水に庭の草木もうるほひて露にやとれる夏の夜の月　大阪　本山のり子
蚊やり火によりて丸たらう夕まぐれ山の端いづる月の涼しさ　遠江　寺田喜子
いこへとは岩根清水やあるしせん喘ぐ山路のなつの旅人　三重　中島千萬子
生ひ茂りふみわけがたき夏草にすゝしくやとる露のしら玉　豊橋　平松いと子
かたむきし賤が庵の屋のむれに一輪咲きぬ姫百合の花　青森　留目文子
夏花う風をとめて匂そふはら一枝折りてか君にさゝげん　青森　三上八重子
岩かげにあそぶもうれし白ゆりの花咲くあたり清水ながれて　岡山　西村長子
五月雨のはれまゝちえて幼子といちごつみつゝ庭めぐりしぬ　岩代　西山佐保子
浦つたひ松の葉がくれ月見えて夏のゆふべは涼しかりけり　岡山　森島古野
見るたにも心涼しくみがゝれし扇ひらけば夏そわするる(原稿に苗字も明記されよ)　石川　篤子
午さがり擔の綸扇そよがせてみどり葉ぬらし青嵐ふく　下野　瀧澤秀子
都びとこの涼しさは知らざらん田毎にやどる夏の夜の月　青森　大橋八佐子
月もよしいざ友よびてきかまほしたへなる君が琴のしらべを　美作　山崎露子
美しき浦曲の松を越えこしなみ風うくるはつ夏の家　丹後　芳雲
夕納涼橋に見わたす館ぶれの中より洩るゝ糸竹の聲　三重　庄司愛子
夏ぐさの繁れる中に咲きそめし色なつかしき姫ゆりの花　紀伊　土井利子
ほとゝぎす夜ふけてなのる一聲はみそらの月やひとりきくらん　岡山　西村清子
ちりの世のものとしもなし里川の岸に匂へる白百合の花　京都　白百合子
男の子らが外出あそびもまゝならず降る雨がこつ五月雨の空　東京　土師利根子
夏草のかずくあれどぬきいでゝ色香けたかき白百合の花　岐阜　小島駒子
龍と見え虎とかまいて大空にむらくく起る雲の峯かな　備中　天野その子

長詩

夏の歌

一等　常陸　神澤幸子

嚴しきかたちかな
なつかしき姿かな
思ひ出の椎の丘
忘れずの夏のやま。

あゝ彼方いとほのに
地平より月のぼれ。
あゝ彼方京なるや
一橋――昔こひしき。

つくばなる椎が丘。
都なる一橋。
その丘をあふぎつゝ
地平なる月見つゝ

ひたすらに涙して
みやこをぞなつかしむ
むかし人世に染まず
今もなほひとり在さむ。

二等　秋草會試作　佐野くに子

庇をつたふ玉滴の
とだえの音を待ち得つゝ
露けき草に下り立てる
妹が姿ぞ愛らしき。

笑みかたぶけて我をよぶ
ねびたる聲に誘はれて
伏屋あたりを眺むれば
つりがね草は露ながら

屋根に花咲き茲かしこ
いと匂やかに初夏の
涼しき色に北多摩の
露の大野を彩るかな

三等　東京　中村えい子

梢みな緑かゞやき
古池にはちす花さく
夏來ぬと人は語りぬ
あゝされど盲ひたる身は
暑けさに夫れと知るのみ。

黄金の實目にこそ見えね
紅き花いろこそ判かね
とこしへに咲くや心の
法の花たのみて今日も
明日も亦かくて過ごさむ。

佳作

黒影　兵庫　鶴見芳雲

月影淡きたそがれの　丘にし立てば黒き影
ふと立ちとまりわが胸の　愛の扉につと倚りて
ほとく打ちぬ默しつゝ　われあけんかのたゆたひに
迷ひ居たりし間もはやみ　何思ひてか黒き影
踵かへして立ちさりぬ

うき世　横濱　鈴木まつ子

さむれば同じうき世の夢　祇園精舎の鐘の音に
西の都の去年の夢　優しの君の御手とりて
嵐の山の青葉かげ　加茂の川原の夕涼み
みはげに早き人の身の　淡き運命の君とわれ
涙は枯れては早や　憂き世を夢とすごすなり

花　大阪　彌生子

園生の主が幾年か　雨に嵐に心して
おほし立てにし花櫻　君がまにく手折よと
あわれにのみ許しけむ　今はつぼみの花なれど
色香をそへて咲きいでむ　春をまつこそ嬉しけれ

讀者欄

▲彌生子樣とは如何なる君にかお人懸し(露緒子)▲くに子樣淑德の御出身とや嬉しくて／＼堪らず候、君は私を知り給はざるか、一年たがゐにて母校を出でし我を知り給はざるか御芳名は兼て雜誌淑德並につる子樣見樣等に伺ひ御なつかしさに、先つ日ぶしつけにも伺ひし事、あしからず御許し下され度、益々御振ひ遊はすやう蔭ながら祈り居候(えい子)▲あなたも御振ひなさいませ(係)▲賞品の禮状を左の諸氏より寄せられたり。

鈴木まつ子、山田咲子、山本ふみ子、西村鶴子、保坂義子、

困るのは本人よりも他人

大學醫院でさへ「不治症」と論定しある わきが(臭き頭)も同じ「臭汗症」の傳染するてふ説は疑問なれども兎も角同病は習慣上、自分に然程、激く感ぜざるも他人の迷惑は實に……言語の外なり
▲必定「全治する」……新發見薬あり

困るのは他人よりも己が身

諸種の「薬物」や「温泉療法」は勿論世の大醫も「難治の症」として最と閉口さるゝ
そばかす　はたけ　にきび　とびひ
ふきでもの　頭瘡　白くも　耳だれ
いんきん　田虫　等も又
▲必らず……「全治す」るなり
右の諸皮膚病を……うそかの樣に根本的「全治する」……新發見薬を

佐藤　ヨーヂ水と名く

論より實驗(無料にて)

右の「諸症」にて御困りの方々は直々御來堂あれば十グラム入壹個(御試用的)を無代價にて差上べし
但し御買入の方は其「三、四分の一」の御療用にて効なき時は幾分御戻し可被下代金は「全部返却」可仕候
右は本劑の「特効」にして果然「百的百中」ならねば如斯「言行」は出來ぬ理と深く御信了の上、時節がら速く御加療有之度候
●定價(六十グラム入)五十錢(百六十五入)「徳用」一圓(三百六十五入)「大徳用」二圓半●市内屆料各五錢●市外郵送(箱代共)各十一錢●清、韓各廿三錢●郵券代用(拾錢以下券)一割増●代金引替の小包郵送は……謝絶す

「ふけしらず本舗」
本店　東京市四谷舟町三二(赤門)　佐藤洋々堂
代理店　仙臺市二日町五十八番地　加藤商會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

短文　卯の花垣

特選　京都　露緒子

卯の花垣の續く邊を或夕さまよひぬ。此處に我幼かりし日の友おはす由きゝてなり。里は聖護院はづれ、京しる人は知りたらん、此邊大方別莊のみにて、ピヤノ笛など心ときめく音波を傳ふ夕とある竹の扉に寄れる人の面ざし、いたく似たるに近よらんとすれば、つと花の奥に隱れ玉へり。大一番の髷に緋鹿の子、なほ眼に殘り、袖の香漂へど人見えず、忽植込の奥より合唱起れり、やさしき女聲の最高音もきこえぬ、心憎し。

佳作

轉地し給へる親しき友の病癒えて歸り給ふとの御文を見て　東京　中村えい子

四日附の御文着嬉しくて魂も身にそはぬ心地いたし候近日御全快御歸京との事、夢ならばさめざらましと祈り居候誠に數旬は瞬間に過ぎて、近日元のいきいきした美しき春子の君に會せむとは、あまりの嬉ばしさに立ても居ても居られず候、一時も早かれかしと御かへりを待ち上候、御歸京の日と汽車の發着御しらせ下され候はゞ必ずステーションにて、なつかしき君を待ち上候はんに。かしこ

評、友を思ふその情あさからず

夏　横濱　鈴木まつ子

思ひ出せば去年の秋この磯山松のかげで、泣いて泣いて御別れしましてから、夢にのみ見ゐをせめての心たのみとしておりましたが、私は病をやしなふ爲海士が苫やに宿かる事となりました、私はこよひ月の涼しいので、波打際へまゐりました、よせくる波も松ふく風もなぜ淋しいのでせう、ああ風が。……明日も暑いでせう。

評、實感には在しまさとるべし。

晴れ間　東京　市村たか

梅雨とは云ひ乍ら小やみもなく四五日も降つた雨も、晝からは青葉若葉に露の玉のこして晴れ渡つた心地よさ大分いそがしさうだれと隱居所からいらしつたおばあ樣にぺピーさん、お預けしてお母さんと姉さんと私と三人でおせんたく。池へ深い水がはいつたと、お父さんと兄さんとかいぼり最中、四つの貞雄おへそまで出して、おとちやん（父）ぶく（魚）もとばちやく／＼大さうにぎやかだな、おゝ貞も働いてるな、それじや私も植木の手入でも仕樣かなとおつしやるおぢいさんのお頭りに松の雫がぽたり。

土曜日　三河　山内絹子

おゝもうけふは土曜日、子等もたのしんで歸るだろう好物のオムレツやカステラでも作つてやろうと、何やかや準備の最中、靴音たかくふたりの子等、中學の制服ゲートル姿勇がるに、崩れさうな笑顔して只今と挨拶する。始終の事ながら此瞬間いつも胸がせまつて來る、我乍らどういふものかわからない。

評、よき兒を持たせ給へり。

樂しきまとゐ　京都　白百合子

他家へ嫁ぎ給へる姉上、けふ久々子供つれて來ます、早や三人の母となりて世帶じみ給ふ、甥姪のたれかれも集り來て、人形箱打ち開けたるやうに賑はしく遊ぶこなたより祖母上興あり顏に見たまへる、姉上は母君に何やらん語りつゝ打ち笑みてながめ給ふ。

評、文の書き方流るゝやうなり

清子ちやん　京都　津田君子

清子ちやん又お床の花をむしつてるのじやありませんか、いゝえあのね、お床の花が曲つてますから、私がまつすぐにしてあげてるのよ。

○　岡山　西村清子

前栽の木立を通して月の光は椽側に流れ込んで居る、涼しい風がさつと後から起る、軒に吊した岐阜提灯の灯影がまたゝいて燃え立つやうな緋の房がさらりと亂れるヂイ／＼と微かな夏虫の音に交て、何處かで笛の音がする、琴を手にするによい夕である。

思出　豐後　河村足

打水の露したゝりて月の影匂ふ、おばしまに大形友禪の浴衣かろらかに居倚りて、琵琶抱かせ給へる御腕のあたり、透き通る計りなるが、少し顯はれたる色白の肉ゆたかなる梅子さまの、妬きまで美しとのみ思ひたる、今は世に亡き人の俤さへ、目の前に浮び出て、あな美しの御人柄や、いかに今一度もと思ひやるたに効なしや。

大和撫子　豐橋　市川みどり

五月雨の三十日あまりも降りつゞきていと心地あしう思ひ居りしに、今日はめつらしくも大空に一點の雲だになく晴れ渡りて、心もすが／＼しうおぼえければ、道の夏草ふみわけて、野べに出れば露をふくめる撫子の花の一本、ゆかしうも咲き匂へるは、實に繪にもかきたらんふぜいなり

かま／＼　佐賀　小林龜子

花見にもやあらんと思はるゝ、笠かざりたる人々のせし伴は、風を切つて行く、行き遠ひたる炭坑稼ぎの賤男の、伴の行方見送りつゝ、おれにも彼の人の指に光れるものだけの身代あらば、こんなに苦勞はせぬが〻云ひつゝ行きぬ。田植唄おもしろう、哩ひつゝありしさ少女はふと面をあげて何をか呟やきつゝ伴の行方を見送りつゝあり。

尺八　丹後　鹽見芳雲

波風か青葉の風か、和琴の響きのやうに感じる、窓をあけた。折柄向ふの磯松につないである、三笠艦のボートの中から、尺八の音が微かに傳はつて來る——節は追分である——私はうつら／＼眠りたくなつた。

嫩草會詠草

○　露緒子

袖几帳わが名をたかう呼ぶ人にかくれてひとり我をあはれぶ（瀬高やす子様へ）
我いれし其首もてる床し人なつかし人よ老いにけらしな
月見草夕かげほのに打ちなびくよわよわしさもそなはれる少女
或日ふと得にける歌のおもむきにまさしく合ひてたゞにおどろく
僞のかたちのあまた我をめぐりひた走りゆく夢ならなくに

○　宇佐美こま子

ことしげく常はみじかきひと日さへ母まつ今日の長くもあるかな
はかなこと思ひつゝけて窓によるゆふべ靜けく五月雨の降る

○　鈴木まつ子

松かぜはたえずふけどもなつかしのきみのおとつれけふもなきかな
ゆめにのみかよふばかりをたのみにてひとり庵にくらすはかなさ

○　豐江と代子

遠方の友のかたみのあふひ草はなは咲けとも逢はぬ君かな
目に見えぬ此世の中のあるものがさゝやく如き雨の音かな

○　神澤幸子

五月ゆく緑葉ぬらし雨ふる日くろ髪ときて死なむと思ふ
子の鳥は野に放たれぬ嬉しさに悲しさ添へて先づ低う啼く

○　瀨木雅子

嚴くしき山のすがたを懷かしう涙あふるゝ瞳にあふぎ見ぬ
夏のかぜ御家を吹き君を吹き同時に吹きぬ對岸のわれを

○　北條すみ子

戀すとふまだき立ちたるなき名ゆへ草にかくれてまた君を見ず

○　神谷つくば

こは奔馬野ごゝろ持たむおん胸の賑につなげ黒がみの綱
歎きつゝ別れて三月更にまたゆるされがたき逢人思ふ

獨逸醫科大學教授ソキスレット氏創製

滋養糖

本品は小兒哺育用最良の滋養料として本邦小兒科泰斗弘田博士の紹介せられたるものに之あり牛乳に和して乳兒に與ふれば母乳と同一の効果を奏し胃腸病兒に用ふれば胃腸を强健にするの効あり目下帝國東西大學小兒科を始め瀨川博士東京小兒科病院其他各家庭に於て盛んに賞用せらる

全國有名の藥舖食料品店にあり

東京神田美土代町四ノ五　和光堂　電話本局一六四八番　振替貯金口座一四九五九

嫩草會報告

嫩草會員諸氏の詠草は御希望に依り、添削の上御返しする筈なれど、多忙なる折には自然遅くるゝ事もあるべしと存じ候、然し元より粗略にするわけにはあらねば催促などはなさらぬやう希望いたし候。一ヶ月以內には大抵御返しするを得べければ。（報告其一）

▲嫩草會に入會を希むもの多く、一々斷り難ければ、自今一ヶ月以上無斷にて詠草を寄せぬ會員は、除名して希望者が新入の途を開く事といたし候。（報告其二）

▲毎月五日發行の分に掲ぐべき詠草は前月二十日限り送付されたく、同廿日の分はその月五日までに送付されたく候。締切後に着したるものは次回に廻すこと〻御承知ありたく候（報告其三）

醫學上より見たる新化粧法

音尾一等軍醫談

心なき鳥獸の類までが、羽毛の美しきを以て友を呼ぶ如く、容色の艶美なるは誠に人生の最大幸福である。されば各國人、競ふて化粧法に苦心し、近年大に進步したれども、我國の化粧法は未だ幼稚で歐米人の如く顏面の皮膚を營養して天然の美を顯はさず、徒らに白粉類を塗布て顏面を飾るに過ぎない。しかも此の白粉には鉛白と稱する有害物ありて、長く之れを使用すれば、識らず知らず顏面皮膚を汚穢し、血管は硬固となり、齒牙は腐蝕し、胃腸、脊髓、心臟、腎臟を犯し、遂には恐るべき慢性不治の病に陷るもので、夫れは俳優、藝娼妓を業とせし人の、晩年に徵しても明かな實例である。依つて、余は醫學上の見解より、我國從來の化粧法は甚だ危險なりと思ふのである。

今度發明の「美顏タオル」は微妙なる理學的の研究によりて考案せられた特殊の裝置を有し、又附屬せる「美顏錠」は從來の化粧料と異り、皮膚の營養、發育消毒等の性能を有する新原料を配合し、他の夾雜物なき藥劑なれば、その効力偉大である。

故に此の二種の作用により、確に我國化粧界の一大危險を救濟し、顏面、皮膚を營養、艶麗ならしめ、總ての皮膚病（ニキビ●アセモ●ソバカス●白粉禍等）を除去、豫防し得るものと認む。

苟くも衞生に注意する男女は、本品の如き最新、簡易の美顏器を用ひて、第一に顏面、皮膚を營養、艶麗ならしめざれば如何なる精良、高價の化粧料を用ゆるも恰も鐵に鍍金するやうなもので、到底、容色を艶美ならしむる事能はざるは勿論のこと、知らず識らず、厭ふべく、また恐るべきところの、病源を釀すのみである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

院長診察月水金木前松田醫學士診察火土前病者施診火木前入院診斷隨時應需松田林兩副長は目下當院に在勤

電本八八八（病院用）八九八（私宅用）

東洋內科醫院

東京神田區駿河臺鈴木町二（御茶水橋畔）

院長　醫學士　高田畊安

神奈川縣高座郡茅ヶ崎村濱（停車場所在）

南湖院

內科一般　板垣亨

東京神田美土代町三丁目十七番

午前宅診　午後往診

電話本局貳千九百七十番

腦神經精神病科

病室清新　診療懇篤

東京龜戶町　電話浪花二五五二

加命堂腦病院

內科專門　杏雲堂醫院

神田區駿河臺

電本一六六九

院長醫學博士　佐々木政吉

最上醬油

キハク印　一香

於姫路島博覽會　名譽大賞牌受領

釀造元　千葉縣野田町　茂木七郎右衛門

價格表（キハク印）（一）

キハク印

醬油は味がよくて調理にかなつて居ると云ふことは皆さん一般の評判てすどーかそのあぢのよくてそして經濟であると云ふことを御ためし願ます

東京支店　日本橋區小網町三丁目　電話浪花五七七四

中野長兵衛

小兒病一般

京橋區南鍋町風月支店斜向　電新四八八壹

宅診　午後

醫學士　福田謙之

梅毒科

◉婦人科一般

◉淋病　◉痔疾　泌尿生殖器障害

は最新無痛注射療法を以て速に根治せしむ

院長醫學士　田島丈作

其他各科專門醫學士擔任診療

京橋　彌左衛門町壹番地　數寄屋橋又は銀座尾張町停留所附近　電話新橋四五五七

診察無料入院隨意

濟生堂醫院

診察自朝八時至夜十時

THE GEM

ゼム

衛生家必携　懷中良藥

愛國

理想の婦人

深き母、常に快活なる氣を以て子を育する母の爲身を愛し、家の事を執るに明敏なる婦人

家庭にあり又交際場裡にありて常に清涼快活ならんには「ゼム」を服用せらるべし

◎主効

○頭痛○眩暈○氣鬱○舟車醉○時候傷○水傷○食傷○消化不良○口熱○口中惡臭○其他常用すれば氣分を爽快にし音聲を美にし諸種惡疫を豫防す。

定價 [illegible]

東京　愛國堂　馬喰町二丁目

京阪　山崎高兒弟　山崎榮三郎

大阪　高麗橋二丁目　商會

御扇子

愛國婦人會御用達

京都寺町五條下ル東側

御影堂　持阿彌

院長醫學博士　榊順次郎

副院長醫學士　久保德太郎

副醫學士　田代謹二

婦人科產科毎日午前診察　婦人科的外科　外國留學中　婦人生殖器泌尿器病及花柳病　科一般火木土午後診察

●施診火木土午後一時至二時

婦人科產科　榊病院

麹町三番町三三（電話番町三九五）

美術之日本

第一卷第三號七月五日發行定價金拾五錢

▲郵税金壹錢▲見本は郵券貳拾錢を要す

▲美術工藝に關する卓說並に小說等滿載

◉發行所…東京市京橋區新肴町十三番地

審美書院

電話新橋三〇五五番

（要目）惡癖に染みし處女の告白◉裁判官夫人の催眠術◉妊娠中の男女を知る法◉理想の配偶者を得る條件◉色魔對處女の護身法◉全治談◉本夫の妄狂ひを止めし實驗◉催眠術應用腋臭治療◉死せし夫と遊びし夢◉女催眠術師◉未亡人其他博士學士の名論揭載

催眠術雜誌

七月號には▲催眠術實驗無料觀覽券▲と▲催眠術無料治療券▲とを添ふ

◉第七拾壹號既刊◉價郵税共金貳拾五錢

東京芝區愛宕町一丁目二番地

電新二八三四　振替一五七一三

博士書院

診察無料

梅毒科

横痃　切開せず腺內注射療法　其他局所痲醉にて手術

▲神田　猿樂町二十五番地　電本局二七八八　神保町停留所附近

▲淺草　區千束町二丁目　電下谷二五四二　公園裏（宮戸座向）

▲赤坂　田町七の三　米公使館前　溜池停留所降り　電新橋四五五八

泌尿生殖器機能障害

淋病　尿道膀胱睪丸の諸病◉神經衰弱　ギュヨーン氏後尿道注射法　ウルツマン氏　マーリス氏の療法　電氣加温

橋本醫院

（各院）專門醫學士勤務す

◎診察　自前七時至夜十時

藥價減額

東洋一の商品陳列即賣館

第一　第二

帝國博品館

第一館　新橋角　電話新橋一六五二番　二二六一番……あらゆる物品を最も格安の正札附にて陳列販賣す

第一第二館內各店共通商品切手發賣……御買上品は市內無賃で配達致します…………

第二館　上野廣小路　電話下谷五三六番三〇四四番……館內あらゆる物品を最も格安の正札附にて陳列即賣するの外左記特殊の設備あり

喫茶店。和洋料理。ミルクホール。汁粉。壽司。菓子果物店。美術室。盆栽盆景。理髮店。休憩所。階上便所。洗面場。夜でも撮る寫眞場。

愛國婦人廣告取扱

神田三河町　博報堂

京橋宗十郎町　正路喜社

日本橋蛎殻町　春風會

京橋南紺屋町　一屋社

神田須田町　金蘭社

本郷區湯島　弘進社

京橋區　廣告社

明治四十二年七月廿日發行（毎月五日廿日二回）

（定價金三錢五厘　一ヶ月七錢郵税不要）

（廣告料　一行金六拾錢）

編輯人　永持德一

發行兼印刷人　山澤俊夫

發行所　東京麹町區飯田町　愛國婦人發行所

印刷所　東京市牛込區榎町　日清印刷株式會社

附錄 愛國婦人會記事

本部記事

〇臨時救護　群馬縣勢多郡大胡町大字堀越村駐在所在勤の巡査角田嘉吉氏は、客月二十九日賊徒押送中賊の抵抗に遭ひ、格闘の末不運にも慘絶なる最後を遂げたるを以て、本會よりは鄭重なる弔詞に臨時救護金若干圓を添へて、同巡査の靈前に備へたり。

福岡支部

〇伊達郡幹事　部に於ては三十七八年戰役の際盡力せしため銀盃下賜せらるゝの沙汰ありし處該銀盃到着に就五月九日披露式を桑折町に於て擧行來會者百三十名頗る盛會なりきと

愛媛支部

愛國婦人會愛媛支部各幹事部會員數

幹事部名	特別會員 終身	特別會員 年賦	通常會員 終身	通常會員 年賦	合計	四十一年十二月末現在人口女子	女子人口百名ニ對スル歩合	七円以上出金賛助員
松山	三〇	一二六	二〇	一、六三七	一、八三五	二一、四八六	八、六〇	二四
南宇和	六	一三	七	八〇八	八三四	一六、六二五	五、〇〇	—
新居	三	三七	二五	一、八五七	一、九二二	四三、六九三	四、四七	三
温泉	一〇	八四	六〇	三、五二三	三、六七七	七七、三一九	四、六六	五
伊豫	一	一五	二四	一、四〇七	一、四四七	三三、一〇二	四、三七	二
宇摩	三五	三六	三三	二、二五四	二、三五八	三八、三七〇	三、五三	—
北宇和	三三	三九	三六	二、〇六五	二、一七三	六一、四九二	三、五三	—
越知	一〇	五六	一七	二、五一七	二、六〇〇	七〇、五三二	三、六九	—
東宇和	—	三	三	九二〇	九二六	二七、二五二	三、三七	一
喜多	五	三	二六	一、三二五	一、三五九	四〇、四一七	三、三四	一
上浮穴	—	九	九	五七二	五九〇	一九、二四一	三、〇六	—
西宇和	八	三二	三〇	一、二七五	一、三四五	四七、八四〇	二、八一	三
周桑	一	一九	九	五三三	五六二	二七、三〇九	二、〇五	—
合計	一〇〇	四七九	三五三	一九、二五七	二〇、一八八	[illegible]	平均 三、八〇	三九

備考　會員數は明治四十二年五月一日の現在員

各幹事部記載序次は會員數多少の歩合に依る

三重支部

役員會

六月九日三重支部に於ては來春を期して第一回支部總會開會の見込を以て支部役員會を開き有田支部長湯地副長及夏秋、内多、飯田、今井、志波、稲葉、大野評議員出席し同時に支部顧問參與及各幹事部顧問等を招待し何れも授産事業たの絣り織の現况を親しく觀察をなしたる後左の各項を協議せり

一來年春季に於て第一回支部總會を開き總裁殿下の臺臨を仰ぐ事

一來年總會開催迄に女子千人に對し四十人の割合に會員を增募する事

一授産場生徒の增募する事

一授産場の現况を會員に周知せしむる事

夫れより一同晝食を共にし懇談數刻にして解散せり

授業證書授與式

愛國婦人會三重支部授産場に於ては六月十二日修業證書授與式を擧行したるが有田支部長湯地副長夏秋、内多、飯田、今井、志波、長井の各評議員等出席し午前十一時式終て紀念の撮影をなしたり因に當日列席の職員より同場就業者癈兵松本德藏慰問の爲め反物及金員若干を贈與せり證書を授與せしは左の如し

津市藤枝町齋藤ヨシ　津市阿漕町高田クニ　津市榎の下田中サイ　河藝郡栗眞村奥山ノブ　一志郡小野江村玉井キクエ　一志郡小野江村田中イマ　多氣郡五ヶ谷村高山ケイ

右修業者に對しては賞與として紀念の爲め各自へ授産場製絣一反づゝ贈與したり

銀盃拜受式

津市幹事部に於ては曩に日露戰役の功に依り銀盃を賜はりしを以て六月二十三日其拜受式を擧行せり出席者は幹事部長内多カネ子始め幹事飯田、今井、大西、直村、杉村、佐々木、太田の諸氏及顧問内多正雄委員淵田捨吉事務員小野寺作右衛門の諸氏參列し來賓として支部長有田ます子副長湯地柳子評議員夏秋枝子稲葉花子及び歩兵第五十一聯隊上長官夫人諸氏臨席せられ同日午後二時開會の幹事部を代表して内多顧問式辭を述べ以て一同恩賜の銀盃にて祝酒を擧げ和氣靄々の内に散會せり

愛國婦人會各支部職員小肖

愛媛支部評議員 佩貳等有功章 阿部乙女子

群馬支部幹事 佩三等有功章 皆川ヒロ子

山梨支部幹事 佩三等有功章 廣瀨ツル子

栃木支部幹事 濵田つれ子

長崎支部幹事 山下マサ子

巖手支部幹事 關口タミ子

岐阜支部

稲葉郡幹事部　四月十一日加納町なる岐阜縣立師範學校構内に於て愛國婦人會岐阜支部稲葉郡幹事部第一回總會を開く今其の概況を左に記す

愛國婦人會岐阜支部稲葉郡幹事部第一回總會式の次第

一幹事部長式辭

一幹事部顧問事務の概要を報告す

一支部長祝詞

一來賓祝詞

一理事部委員總代祝詞

一會員總代答辭

右の通にして幹事部長は左の式辭を朗讀す

式辭

本日玆に愛國婦人會岐阜支部稲葉郡幹事部第一回總會を開くに當り貴賓の御臨場を辱し我が幹事部の光榮之れに過きす惟ふに本會の事業により戰時に必要なるのみならす平時に於ても遺族癈兵の救濟等に其の子弟の教育等に至るまて成すへきもの固より多々なるを信す會員力益奮て會務の擴張靈等せられんことを希ふ聊一言陳へて式辭とす

明治四十二年四月十一日

愛國婦人會岐阜支部稲葉郡幹事部長齋藤眞子

次に幹事部顧問は事務の概要を報告すべき筈の處之を略し時機を見て適宜の方法に依り之を報告する旨を口述し終て支部長代理岐阜支部主事岡部啓氏は祝辭を朗讀す

次に岐阜支部參與原眞澄氏登壇に本會の趣旨を始め日露戰役中に於ける岐阜附近の婦人會々員の活動の一班を述べ向後益會務の擴張並事業施設の必要あるを以て會員を增務し會務の盛大に努められむことを望むとの意を簡單に口述し續いて幹事部内町村委員總代として長良村委員祝辭を朗讀す

次に會員總代として江川トメ子氏答辭を朗讀す

右終て稲葉郡幹事部顧問發聲にて天皇皇后兩陛下、皇太子、同妃兩殿下、總裁宮同妃兩殿下の萬歲を三唱して閉會す因に當日は日本赤十字社岐阜稲葉郡委員部第二回社員總會を開會せられたるを以て之れと合同擧行したるものなれば參列者來賓は薄本縣知事を始め約二百名赤十字社員二千餘名、婦人會々員百五十餘名にして餘興として煙火、角力、盆栽陳列、撒餅及加納町内に於ては万國々旗並球燈を以て滿街飾を施し尚ほ山軸五幅を輓出して一層の光彩を加へ殊に春陽胎蕩日麗にして風朗かく花笑ひ鳥唄ふの好期節なるを以て附近より參觀に出たるもの無慮數千人近年稀に見る盛况なりき而して當日報告を異したる事務の成績及支部長へ呈したる會員表並職員名簿は左の如し

〇愛國婦人會岐阜支部稲葉郡幹事部ノ會ハ明治三十七年一月ノ開始ニシテ以來會員ノ〇集ヲ爲シ現今ニ於テハ

特別會員　五拾名

通常會員　三百七拾六名

計　四百廿六名

外ニ贊助員三十七名

ニシテ郡内女子人口百人ニ付會員一人ノ割合ニ當レリ

一、會務開始以來本年三月迄ニ於ケル發幹事部收支計算ヲ擧クレハ

收入額　壹千五百六拾[illegible]圓拾錢

内

所定ノ交付金即チ町村理事部並郡幹事部經費ヲ受領控除シテ支部ヘ送納シタルハ

金壹千四百圓拾壹錢四厘ナリ

以上

右報告ス

明治四十二年四月十一日

愛國婦人會岐阜支部稲葉郡幹事部長齋藤眞子

愛國婦人會々員數表

明治四十二年三月三十一日　稲葉郡幹事部

町村名	特別會員	通常會員	計	贊助員	
鷺山村	一	一四	一五		貳、五
蘇原村	三	三八	四一		二、一
本田村		一四	一四		一、八
那加村	四	二五	二九		一、五
常盤村	一	一五	一五		一、五
市橋村	一	一一	一二	一	一、三
加納町	一三	二三	三六	一二	一、二
鵜沼村	三	二七	三〇		一、二
則武村	二	七	九		一、二
岩村		九	九		一、二
南長森村	二	一八	二〇		一、一
方縣村	一	一一	一二		一、一
島村	一	二六	二七	一七	一、〇
鶉村	一	一一	一二		一、〇
日野村		八	八		一、〇
北長森村	四	一三	一七	二	九
黒野村	一	一三	一四	五	九
長良村	二	二四	二六		八
佐波村		一二	一二		八
三里村		八	八		八
鏡島村	三	七	一〇	一	七
厚見村		九	九		七
日置江村	三	三	六		六
前宮村					六
茜部村					五
芥見村	二	四	六		五
本莊村	一	二	三		三
各務村		三	三		二
更木村		二	二		二
[illegible]中	一	五	六		
計	五〇	三七六	四二六	三七	一、〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

教養所日誌

四月四日（日曜曇夜雨）午後自習室に於て寮生に算盤の練習をなさしめ晩餐後一同を食堂に集め談話會をなし終りて一同に唱歌せしむ

四月五日（月曜曇午後雨）本日より高等科生十八人（内一年十人、二年八人）は上六番町なる麹町高等小學校に通學を始む尋常科生も去る二日の如く登校す本日愛國婦人會總會に付本部より寮員及寮生一般に壽司折詰及煎餅の寄贈あり

四月六日（火曜曇後雨）寮生登校例の如し

四月七日（水曜午前暴風雨午後晴）寮生登校例の如し暴風雨の爲め小使若松を尋常科寮生に尾行せしめたるも無恙に通學せり

四月八日（木曜晴）寮生登校例の如し

四月九日（金曜晴）寮生登校例の如し

本日特別の詮議を以て態々上京し來りし熊本縣幼兒野村芳雄に就き體格檢査をなし甲種に合格せしを以て新に收容をなしとなす收容諸事他の寮生と異なることなし本日寮規及寮生心得を定む左の如し

寮規、寮員、第一條、寮中一切の事は寮長之を監督し尚ほ寮生の薰陶發達に關しては所長に對し特に其責に任す第二條副寮長以下各寮員は各其分擔の業務に就き服務すべきも凡そ事の寮生の薰陶發達及び其起居動作紀律風習に關するものに在りては寮長の意圖を承け極力協同一致皆共に之に當るものとす、第三條、寮長は寮生中より所要の人員を指命し在寮間當番其他の勤務に服せしむ、囑托員、第四條、協醫は寮長と協議し寮中衞生の事に任す、第五條囑托諸教師は寮長と協議し教育其他受持の事項を擔當す、寮生心得、一、教育勅語並に軍人に賜はりし勅諭を以て寮生心得の心髄となすへき事、二寮生は所員寮員囑托員及び其受業學校職員に服從すへき事、寮長の命したる班長に對し寮生は之を事し其指揮を受くへき事、三自分の事は自分にて始末し又決して他人に及ぼさゝる樣心掛くべき事、五衣服物件建物等を毀損汚穢せざるは勿論窓欄干等に近づき遊戯すべからざる事、六圊厠に上る時は先づ其位置を正しくし之を汚さざる樣心掛くべき事、七非常の事あるに際しては極めて靜肅に寮長の定むる處に集まるべき事、以上、

美顏タオル

定價
特製（美顏營養料二百五十日用分付）金壹圓
甲種（美顏營養料百五十日用分付）金六拾五錢
乙種（美顏營養料七十五日用分付）金五拾錢
送料　市内は御報次第無料配達　地方は送費八錢申受（三個迄）

發賣元　東京市京橋區新富町二丁目五番地　合資會社 伊藤商店（電話新橋三九四一番　振替口座東京一八五四六番）

取次販賣　愛國婦人發行所

稀に見る偉觀!!

故川上眉山氏著　春陽堂發行　**眉山全集** 上卷　實價金二圓　郵税十[illegible]

故尾崎紅葉氏著　袖珍 **紅葉集** 壹卷　實價金一圓　郵税八錢

眞山青果氏著　小說 **壁上**　[illegible]

京都御料理 **お多福豆**　平野家東京支店　電話本局三千百三十番　東京日本橋區上槇町拾壹番地

小兒科專門　ドクトル メヂチーネ **長井岩雄**　腺病質、胎毒、貧血　小兒喘息、百日咳　小兒皮膚病、　日本橋數寄屋町一（呉服橋外）電本百八十

高いじまんと安いじまんの浴衣地其外お單衣物一式取揃へ居候

めりんす友染でおなじみの日本橋區人形町通り赤のれんおばなや本店にて今年のおゆかた地は有名なる竺仙染を始め總て粹き向新柄澤山取揃へ申候間御進物御覽をも兼ね一應御遊び旁々御來駕の程奉待上候御用の節は電話浪花四三四五番へ願升

脫毛自在美容材料　剃刀不要

◎人手を待たず時間を要せず立ち處に不用の毛を除去る配劑なり
◎少しの痛み害も無く又跡に何等の痕跡を殘さす脫毛しあとは拭へたるが如く隱し
◎剃刀等を使用する事不能場所の毛を取るに長も妙なり
◎使用頗る簡便なるを以て御婦人方の眉襟脚、杯の生へ際を作るゝに美容材料として欠くべからざる毛脫劑なり

定價　大瓶 一圓　小瓶 五十錢

東京市神田區仲猿樂町二十一番地　製造元 日本美顏洋行

有功確實なる本品は日本愛國婦人發行所より發賣す

佐藤洋々堂製の **ふけしらず**

右ふけしらすと名く『香水』を毎月二三度附れば如何に「ふけ」の多い男女でも年中一粒の「ふけ」を見ず且「ぬけ毛」と「かゆみ」少しも無く倘頭髮の「惡癖」を直して良き「ふくれ毛」となる（無害大有効の）もの
◎日夜「かゆく」て、汚き「ふけ」は我身に「つらく」他人に不禮シカも「頭髮」を惡化し「ぬけ毛」を多くする大々有害物なり
◎定價（四勺入）卅五錢（一合餘入、大德用）七十錢、市内屆料五錢、市外郵送（箱代共）各十一錢、清、韓、各卅三錢（郵劵代用）一割增
◎代金引替の小包郵送は謝絕す

本店　東京　四谷區舟町二三（赤門）佐藤洋々堂

金銀盃類

貴金屬寶石美術品袋物一切何品に依らず迅速と廉價を旨とし誠實に新調又は改作の御用相勤め可申候間何卒一層の御引立を以て多少に不拘御下命被下度奉願上候

宮內省御用達 **玉寶堂**　電話下谷（特九六五番　一二四四番）

女子美術夏期講習會員募集

一、期日。第一回（八月一日ヨリ同月十五日迄）ト第二回（八月十六日ヨリ同月三十日迄）ノ兩度開催ス。一、講習科目。袋物科、摘細工科、刺繡科、壘細工科、綿細工科、果實製作科ノ六科トス。一、講習料。一科何レモ五拾錢トス二科兼修ハ一圓トス。一、入會申込所及會場。第一回ハ（七月廿五日迄）ニ志望科ヲ明記シテ左記ノ兩所何レニ申シ込ムモヨシ第二回ハ（八月十日迄）ニ前同樣ニテ申込ムベシ

和歌山女子美術敎授所（和歌山三木町堀詰十二番地）
和歌山女子美術敎授所分敎場（和歌山市廣瀨通り町一丁目）
（郵劵貳錢封入規則書送ル）

講師
東京東洋女藝學校卒業　東京女子技藝敎授所卒業　田村しな子
東京東洋女藝學校卒業　小笠式造花敎授所卒業　永野とよ子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN